

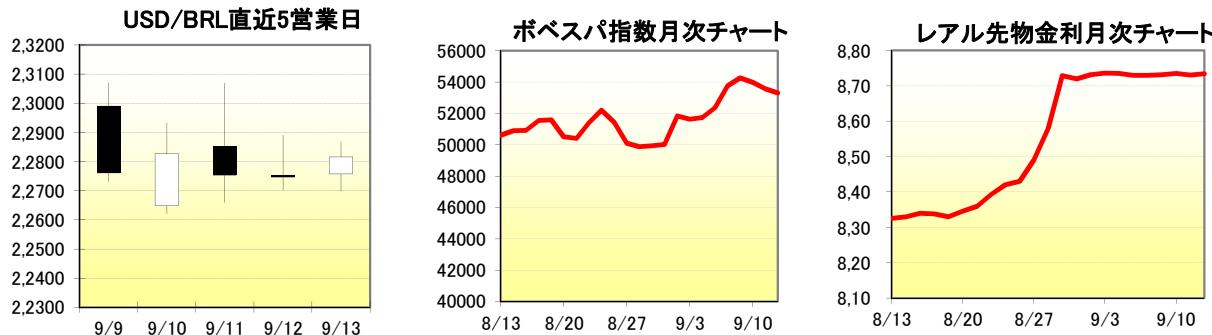
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			9月9日	9月10日	9月11日	9月12日	9月13日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,2760	2,2850	2,2730	2,2750	2,2810	+0,0060
	USD/YEN	Spot	99,62	100,38	99,92	99,48	99,38	-0,1000
Swap	EUR/USD	Spot	1,3259	1,3268	1,3311	1,3299	1,3301	+0,0002
	BRL/YEN	Spot	43,77	43,97	43,92	43,73	43,59	-0,1400
Stock	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,48	1,53	1,85	1,60	1,57	-0,0306
		1Year(p.a.)	1,77	1,82	1,99	1,86	1,81	-0,0528
Real Interest	6MTH(p.a.)	9,50	9,50	9,52	9,60	9,59	-0,0055	
	1Year(p.a.)	10,00	10,01	10,09	10,19	10,17	-0,0162	
Stock	Bovespa		54.252	53.979	53.570	53.307	53.798	+490,42
Bond	CDS Brazil 5y		187,70	185,63	175,88	175,88	175,01	-0,8660
	Global 40		117,750	117,250	117,250	117,375	117,125	-0,2500

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
経済活動(前月比, 7月)	-0.60%	-0.33%	1.03%	
経済活動(前年比, 7月)	2.89%	3.38%	2.35%	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.2990 で寄り付いた。
- 週初のリアルは寄り付き直後に伯中銀がドル売り介入を実施したことを見てリアルはじりじりと上昇し、更にポジション調整と思しきリアル買いも見られるとリアルは 2.2800 を上抜けて続伸した。
- 翌 10 日には中国の 8 月の工業生産が過去 1 年 5 カ月で最大の伸びとなつたほか、米国によるシリア攻撃が回避されるとの見方が強まるリスク資産の買いが見られ、リアルもつられて大きく上昇。更に伯中銀がドル売り介入を実施するとリアルは週間高値となる U\$1=R\$2.2650 まで上値を拡大したが、大口の資金流出の噂に加えて、オバマ米大統領が対シリア軍事攻撃が議会の承認を得られるよう戦略を修正したとの報が嫌気されるとリアルは 2.29 台前半まで急反落した。
- 週央には大口の資金流出の噂からリアルは下落し、週間安値となる U\$1=R\$2.3070 まで下値を拡大したが、資金流出によるリアルの下落が収まると、米国主導によるシリア攻撃への懸念が薄れたことを受けたリスク資産買いの動きにつられてリアルは 2.26 台後半まで反発した。
- 翌 12 日には米 FOMC を控えて様子見となる投資家が多く見られ、リアル相場は薄商いとなる中、7 月のユーロ圏鉱工業生産が予想以上に落ち込んだことが嫌気されると、ユーロが下落、リアルもつられて 2.28 台後半まで下落した。しかし大口の資金流入の噂が聞かれるリアルは急伸、2.27 台後半まで買戻される展開となった。
- 週末にかけてはリアル相場の流動性が更に低下し、リアルは伯中銀によるドル売り介入を受けて一時 2.2700 を上抜け上昇する場面も見られたが、直ぐに反落、2.2800 を中心に小幅に推移し、結局 U\$1=R\$2.2810 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
9/16	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Sep	0.90%	0.15%
9/16	FGV CPI IPC-S	Sep 15	0.26%	0.25%
9/16	Trade Balance Weekly	Sep 15	--	\$299M
9/17	CNI Industrial Confidence	Aug	--	52.5
9/18	FIPE CPI-週次	Sep 15	0.23%	0.21%
9/18	IGP-M Inflation 2nd Preview	Sep	1.11%	0.11%
9/20	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	Sep	0.28%	0.16%
9/20	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	Sep	5.93%	--

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.20-2.40

今週は米 FOMC を控えてレアル相場は薄商いとなり、ボラティリティーもやや低い展開となった。レアルは伯中銀によるドル売り介入や大口の資金流入を受けて一ヶ月振りの水準となる 2.2650 まで回復する場面も見られたが、週を通じて見ると概ね 2.28 台での推移となった。来週はいよいよ米 FOMC が開催される。バーナンキ FRB 議長ら金融当局者は現行 850 億ドルの月間債券購入額の縮小開始を決定すると市場では予想されている。市場予想に沿った金融緩和縮小開始が決まれば市場急変となる可能性は低いが、債券購入縮小のペースが市場の期待よりも速すぎれば混乱を招く恐れがあるため、レアル相場は引き続き大きく動く可能性があり、注意が必要であろう。